



in consideration for environmental adaptation / Vol.8

**Kenso Architects**  
**Design Catalog**

一級建築士事務所 **Kenso Architects**





私たちケンソウ アーキテクトは日々の生活の中で

目に見えるもの… 心で感じるもの… 手に触れる触感…  
遠くから流れてくる香り… 耳に飛び込む音楽 …

そういったささやかな事こそ  
日々の生活を豊かにしてくれる大切な事柄であると考えています。  
目に見える『かたち』ではなく、人の心を満たす空間づくりをめざしています。

私たちは、家を造るプロセスを  
“最も重要な要素の1つ”だと考えています。

家をつくるという事は、あなたと家族の為だけの空間をつくるという事。  
試行錯誤し、楽しみながら生まれてきた『豊かな空間』は豊かな人を育てます。

出来あがっている箱の中に生活を詰め込むのではなく、  
住む人のスタイルが、そのまま空間になった家を造りたいと考えています。

家はその場所に長い間存在し続け、生活する家族を守り続ける場所。

目先の便利さや安さのみを追求せず、クライアントとのたくさんの対話の中から  
“あなたらしさ”を取り出し、  
あなたらしい暮らしと空間をデザインします。

私たちは、スタンダードに美しい  
“本質的な豊かさ”を追求した家づくりをご提案いたします。

家が出来あがったときの達成感とお客様の笑顔 …

それは、私たちにとって何にも変える事のできない大きな喜びです。  
そんな家づくりのよきパートナーとなる事を  
心より願っています。





ケンソウ アーキテクトが手掛けた住宅を一部ご紹介いたします。  
ホームページにも掲載しておりますので、是非ご覧ください。

<http://kenso-ad.jp>



#### 1. デザインセンスと暮らしのセンスある住み心地のいい家が造れます

家は、一度建築すると永年その場所に存在し、街並みの一部となっていきます。年月を経ることで深みが増し、永く愛着のもてるような、スタンダードな美しさと機能性を持った家づくりを行います。家に帰ると ところが安らぎ 穏やかで豊かな 住宅を提案したいと思っています。

#### 2. 楽しみながら家づくりが出来ます

何も無い白紙の状態から、あなたのいろいろな夢や可能性を実現していきます。少し調べると目移りするほど沢山の情報が溢れています。情報の波に飲まれ無いよう、私たちは住まい手の考えや想いと共に伴走します。家族を守り育つ場所をつくっていく過程を一緒に楽しみましょう。

#### 3. 構造が選べます

Kenso Architectsでは木造だけでなく、鉄骨や鉄筋コンクリート造など、建築の条件から導き出される最も適した構造をご提案します。

#### 4. 安全・安心の家づくりを行ないます

安全・安心の家づくりを行なうにあたって、最も重要な要素である“設計と施工の分離”を行なっています。着工後は、図面通りに施工が進んでいるかを、現場で確認・検査を行います。

#### 5. コストコントロール

家づくりに必要なコストを土地費用から、税金、諸費用などを含めトータルで検討いたします。建築費以外の資金も、あらかじめ検討する事でバランスのとれた家づくりが可能となります。

#### 6. 造作家具

何も無い空間に椅子一つ置くだけで『絵になる』ように、家具は空間を構成する重要なファクターです。住まい手の暮らしや個性に合わせ、キッチンやカップボード、テーブルや本棚など造作家具の製作をすることができます。建物だけでなく日々の暮らしに愛着を持った物に囲まれる豊かさをデザイン提案します。

## ■設計業務について

私たちは工事・施工に関する費用はいただきません。  
Kenso Architectsにお支払いいただくのは、設計・監理料金のみです。

設計業務と施工業務を、別々の会社に依頼して建築をつくる事を設計施工の分離方式と言います。  
施工会社と利害関係のない、第三者（設計事務所）が工事内容や金額のチェックをお客様に代わり行なう事で、適正な価格で安全、安心な建築物を造るというシステムです。

ケンソウアーキテクトでは設計施工分離は安全、安心な建物を建築する上で、必ず必要な事であると考え業務を行なっております。

## ■コストコントロール

家を新築又は購入した方が、必ずと言っていい程、口にする言葉があります。それは…

「当初予定していたよりも、多くの費用がかかった。」

この理由の一つは、積み重ね方式でコストが決まって行くからです。

積み重ね方式とは、建築施工費以外の登記費用や税金、申請料など様々な諸費用が全体金額に含まれておらず、工事の進行に合わせてその都度、費用が発生し積み重ねられていく事を言います。

もちろん家づくりは、大きなプロジェクトなので、スタート時には見えていなかった費用が、後から必要になるという事も、当然あります。しかし、はじめから当然必要な金額というのは、予算の中に含んだ状態で検討を行なう事がとても大切です。なぜなら、諸費用であっても、家を建築するには当然必要な金額である為、その額が予想以上であっても途中で家づくりをやめるという事は絶対にできないからです。

坪単価〇〇円だけで判断せず、家づくりのトータルコストを確認した上で家づくりを進める事が大切だと考えます。

ケンソウアーキテクトでは、家づくりに必要となる、設計や工事以外の費用をトータルで提案いたしますので、適切なコストバランスをもった、無理のない家づくりをすることができます。

## ■アフターサービス

住宅は完成してからが本当のスタートです。

建築完成後、家具購入やインテリアについての相談・アドバイスもさせていただいております。

ケンソウアーキテクトでは家の定期点検を行っています。(竣工後1年目点検)

住宅をいつまでも美しく、そして本来の機能を保つには、建築後の時間経過とともに、どうしても手入れが必要となります。適切な時期にメンテナンスをすることで、家をいつまでも健全な状態に保つことができます。

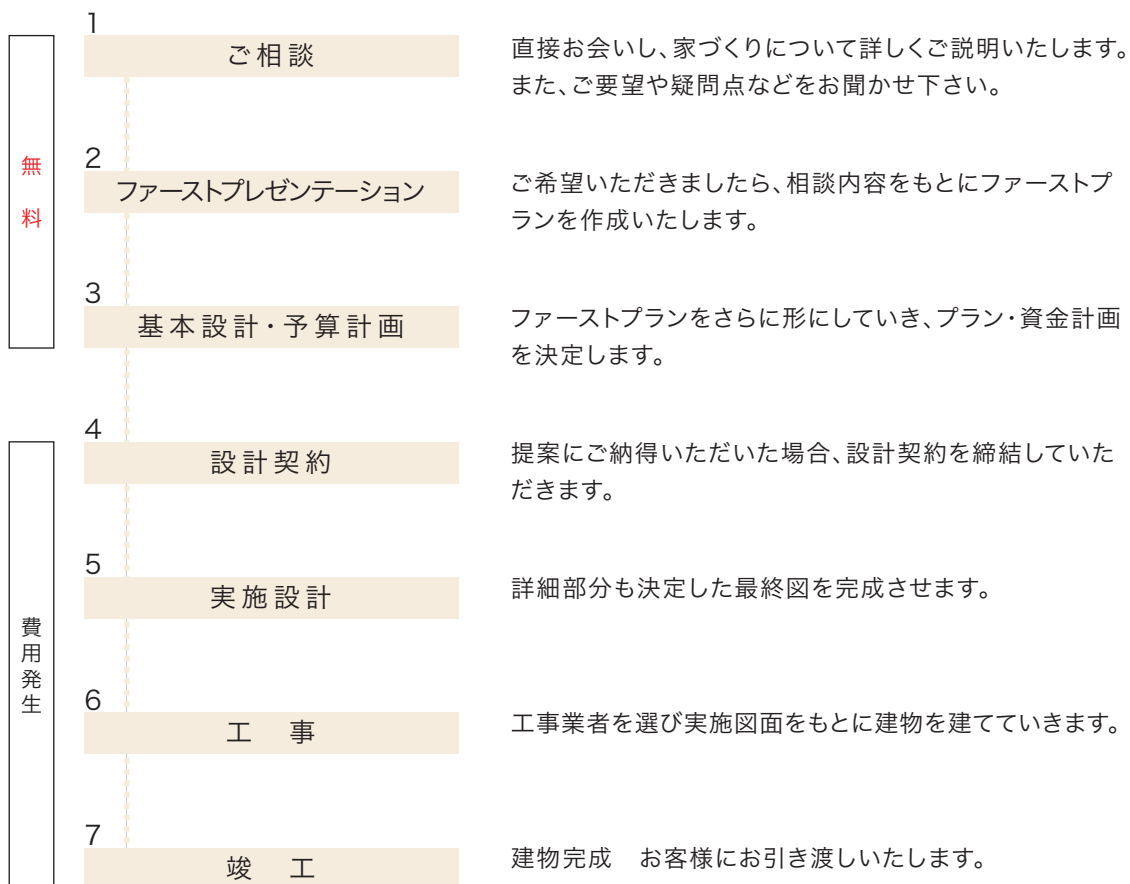
家の完成後も、末永くお付き合いさせていただきたいと考えております。



- ご相談いただいてから家が完成するまでの流れ -

ケースによって家づくりの流れも人それぞれですが、一般的な例をフローにてご紹介いたします。  
ご相談は無料で承っております。まずは初めの一步、お気軽にご相談下さい。

まずは初めの第一歩。電話・メールにてご連絡下さい



## | 石の家 - HOUSE |

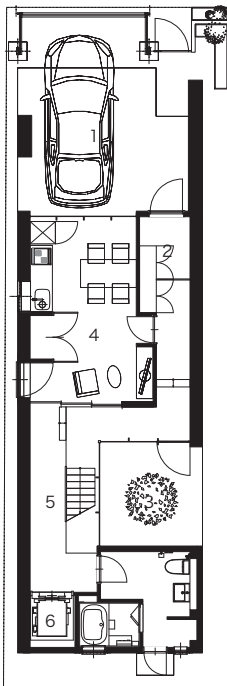
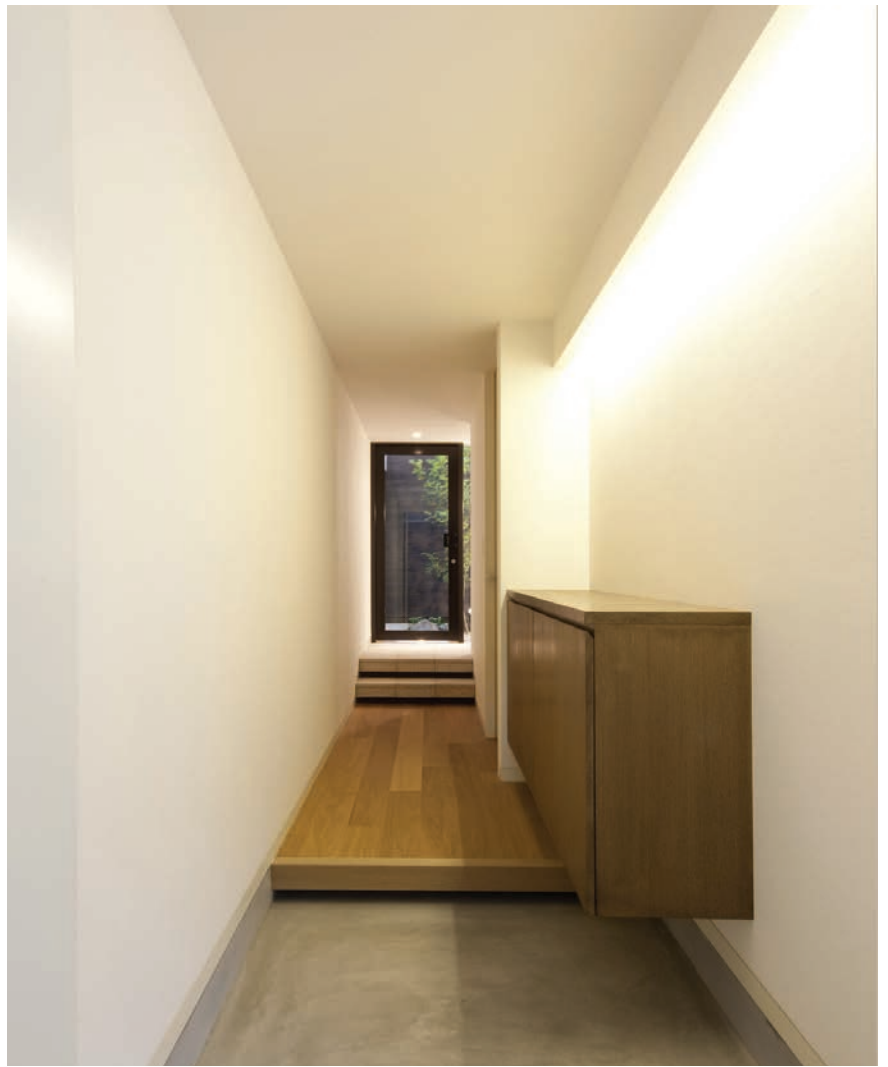
場 所 : 大阪市住吉区  
工 法 規 模 : 鉄 骨 造 4 F  
敷 地 面 積 : 109.62m<sup>2</sup>  
建 築 面 積 : 60.16m<sup>2</sup>  
述 床 面 積 : 190.07m<sup>2</sup>

比較的市街の住宅地に、鉄骨造4階建ての2世帯住宅として計画された建物です。

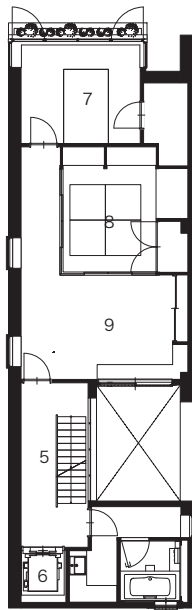
施主から出された要望は、親が住んでいる既存の木造住宅を解体し、その場所に新しく2世帯で生活できる場所を計画する事でした。

2世帯住宅で、各家族の動線を分断してしまう事ではなく、個々の空間を「中間的な領域」で接続する事でプライバシーを守りながらも、よりよいコミュニティーを築くような計画としました。

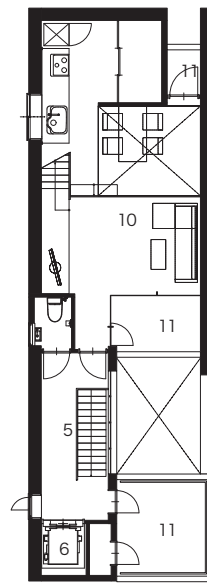
旧家の記憶を引き継ぎながら、あいまいな人の距離と時間をつくり出す事を考えデザインを行ないました。



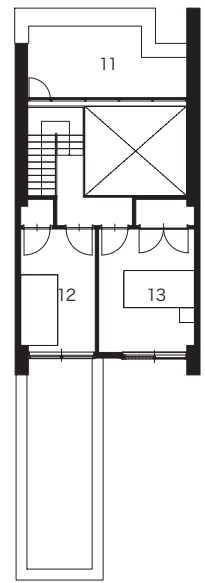
1F PLAN



2F PLAN



3F PLAN



4F PLAN

1.parking 2.entrance 3.courtyard 4.DK 5.stairs 6.EV 7.room 8.japanese room 9.parlor 10.LDK 11.balcony



経年変化を楽しむサビ石を使ったファサード





思い出のある物を新しく組み込んだ和室と書斎



中庭と一体となった廊下・階段 床は経年変化を楽しむサビ石



中庭と一体となった廊下・階段は親世帯リビングとつながり開放感を得る



美術品を飾るギャラリー廊下

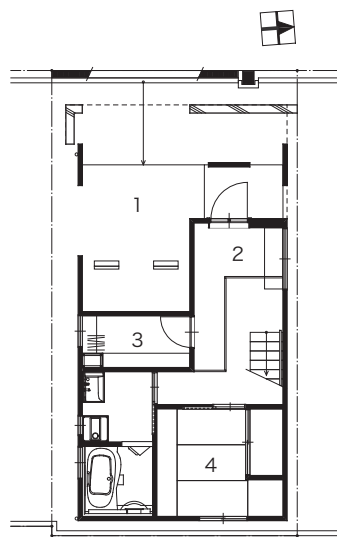
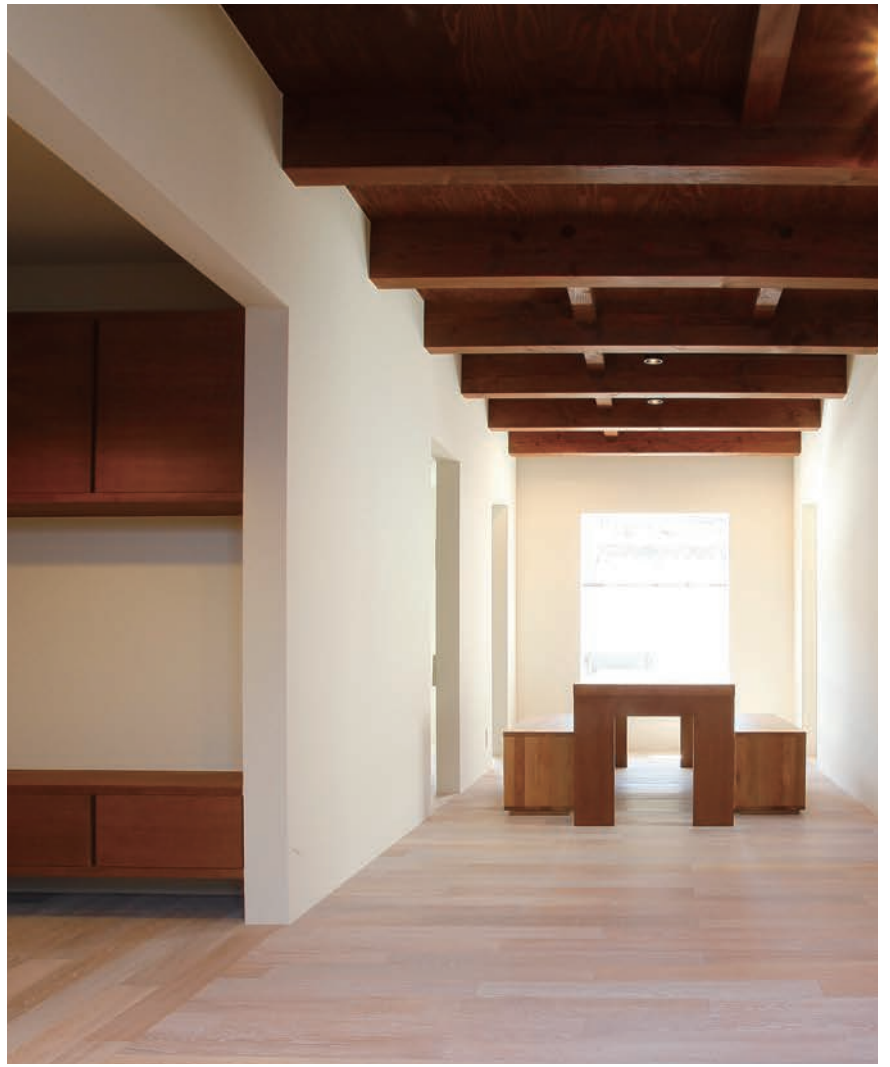


中庭と一体となった廊下・階段

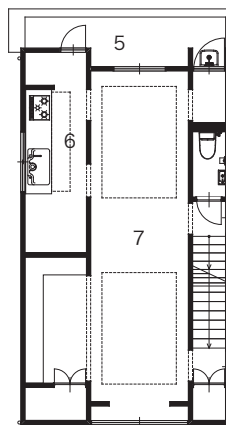
## | 木と石の家 - HOUSE |

場 所 : 大阪市中央区  
工 法 規 模 : 木 造 3 F  
敷 地 面 積 : 68.45m<sup>2</sup>  
建 築 面 積 : 45.54m<sup>2</sup>  
述 床 面 積 : 125.44m<sup>2</sup>

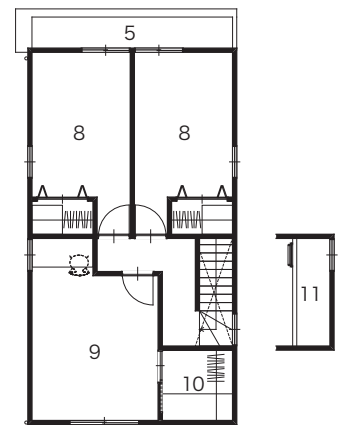
3方が建物に囲まれた都心に位置する長方形の敷地に建つ木造3階建て住宅です。住環境を法的規制に照らすと形態の検討余地無くめいりっぱいのボリュームとなります。コスト、採光や広さ等を整理していくとデザインの介入が難しくなりました。そこで、道路に面する一部分を建築物と一旦切り離し歪め意図的にズレを創りだし、内部はボックスを入れ子状に配置し、切り離れたズレもその一部へとりこんでいる。そのズレを利用する事で開放性を得ながらプライバシーを確保しています。一般的な形態でありながら、少しのデザイン介入により新しい建築を構築する事を試みています。



1F PLAN



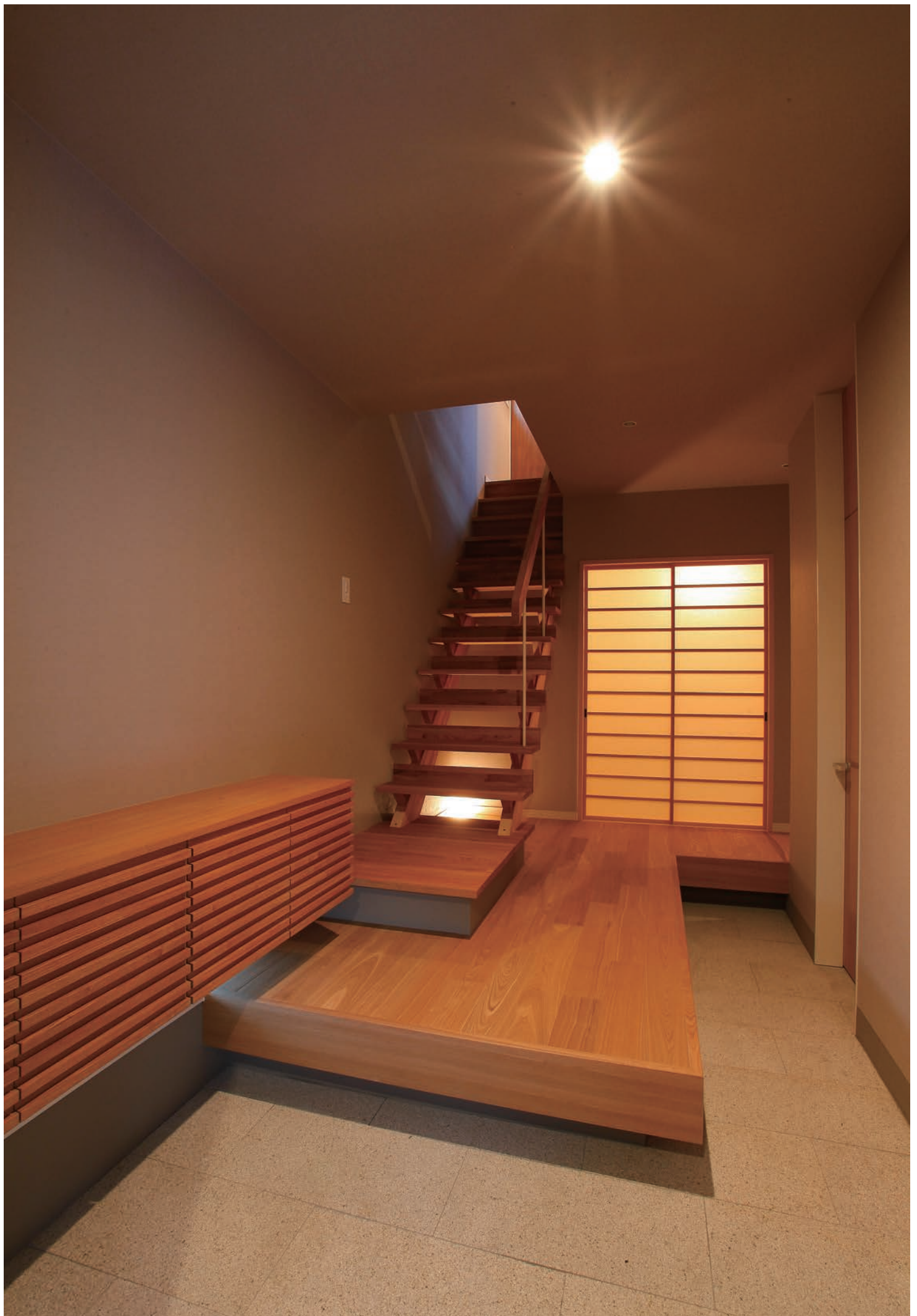
2F PLAN



3F PLAN

1.parking 2.entrance 3.SICL 4.japanese room 5.balcony 6.kitchen 7.LD 8.room 9.main room 10.WICL 11.loft

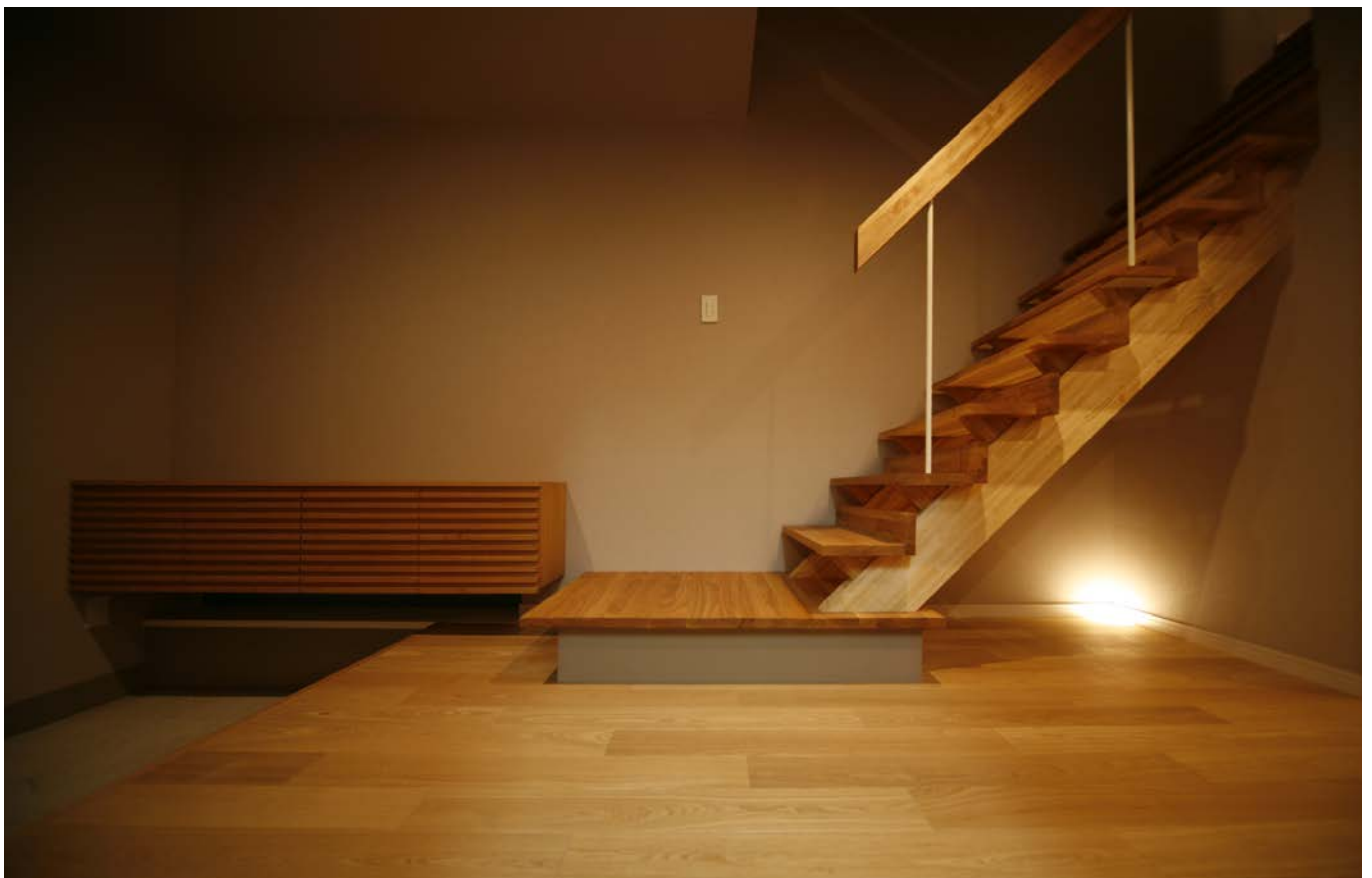




土足でシューズクロークへいける長い土間のあるエントランス



経年変化を楽しむサピ石とレッドシダー貼りの外壁が印象的なファサード



和の雰囲気が出迎えるエントランス



ダイニングからキッチン・PCコーナーへの開口



リビングダイニングから奥行きを感じる開口のある壁

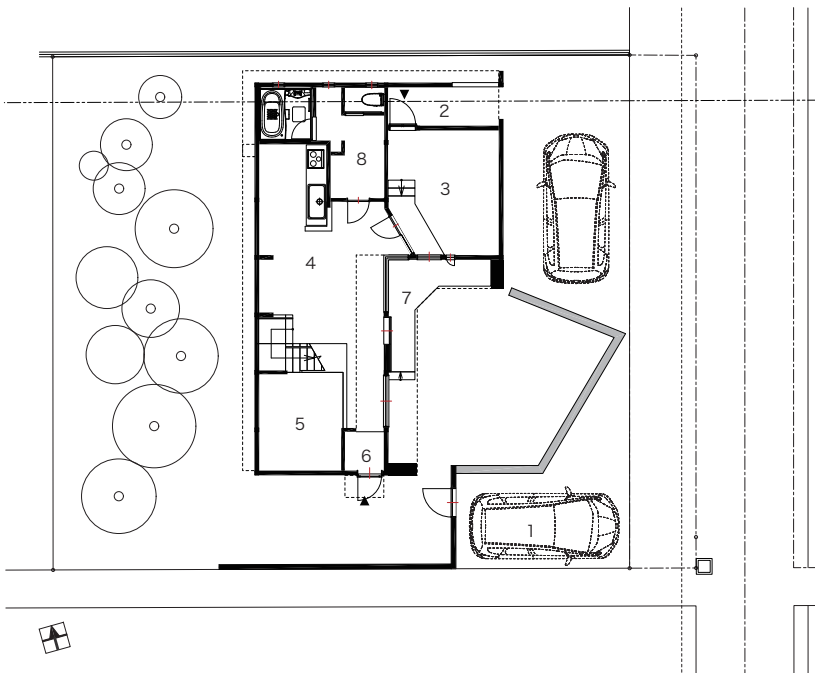
## | 楽堂の家 - HOUSE |

場 所 : 八尾市南久宝寺  
工 法 規 模 : 木 造 2 F  
敷 地 面 積 : 296.45m<sup>2</sup>  
建 築 面 積 : 78.87m<sup>2</sup>  
述 床 面 積 : 121.18m<sup>2</sup>

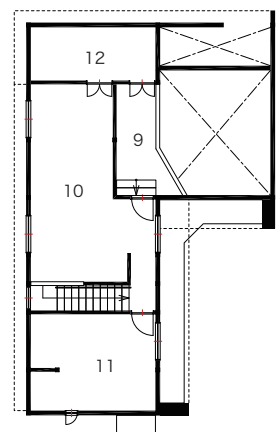
「楽堂の家」はJR久宝寺駅から徒歩3分程度の市街地に計画されたピアノレッスン室付きの小さな住宅です。木造の2階建、広さ約120平米、吹抜けのあるピアノレッスン室を中心に計画されています。

硬質なマテリアルを使用し、レッスン室のある家でありながら、オープンプランな構成となっております。

音のある生活をテーマとして、生活の中に自然と音楽が溢れる豊かな場所となる事を目指し設計をおこないました。



1F PLAN



2F PLAN

1.parking 2.entrance 3.lesson room 4.DK 5.japanese room 6.sub entrance 7.terrace 8.bathroom 9.bleachers seat 10.children's room 11.master bedroom 12.cellar



高さの変化があるRC塀と金属サイディングの外観



和室とダイニングを分ける華奢なトラス階段



引込みの長いアプローチから続く天井の高いピアノレッスン室



ピアノレッスン室からダイニング・2F観覧席



造作の洗面



ダイニングより中庭・ピアノレッスン室



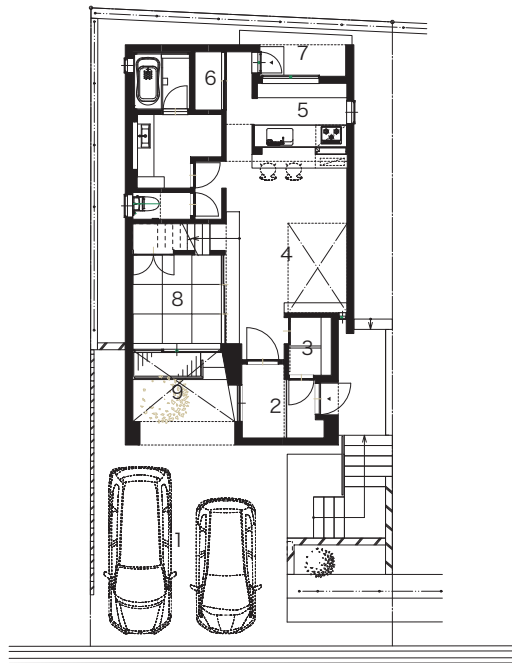
和室とダイニングの程よい一体感

## | 開坑の家 - HOUSE |

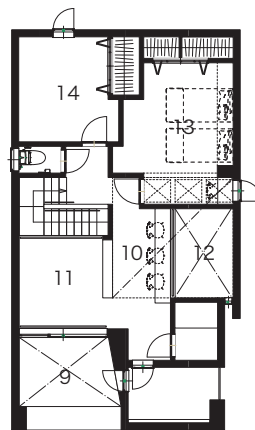
場 所 : 豊中市緑ヶ丘  
工法規模: 木造 2F  
敷地面積: 162.04m<sup>2</sup>  
建築面積: 71.00m<sup>2</sup>  
述べ床面積: 127.00m<sup>2</sup>

市街地に建つ木造2階建ての木造住宅です。施主からの要望は「省エネルギー性とデザイン性を両立した家」という明快で難解なコンセプトでした。設計を進めるにあたってシンプルな2つのテーマを設定しました。

1、省エネルギー性を考え、建築設備に頼ることなく快適に過ごせる空間をつくる。  
2、建築的に長寿命であるという事。  
この2つの関係はとても重要であり、光のコントロールや空気の対流を考え計画し、モルタルやタモ、塗装壁など普遍的な素材の特徴を生かし、極力『シンプル』で『普遍的な美しさ』を追求した住宅です。



1F PLAN



2F PLAN

1.Parking 2.Entrance 3.Sic1 4.LD 5.K 6.Pantry 7.Service yard 8.Japanese room 9.Void 10.Library corner 11. Open room 12. Open 13. Room 1 14. Room 2





土地の高低差を利用したファサード



リビングダイニングと緩やかにつながる和室



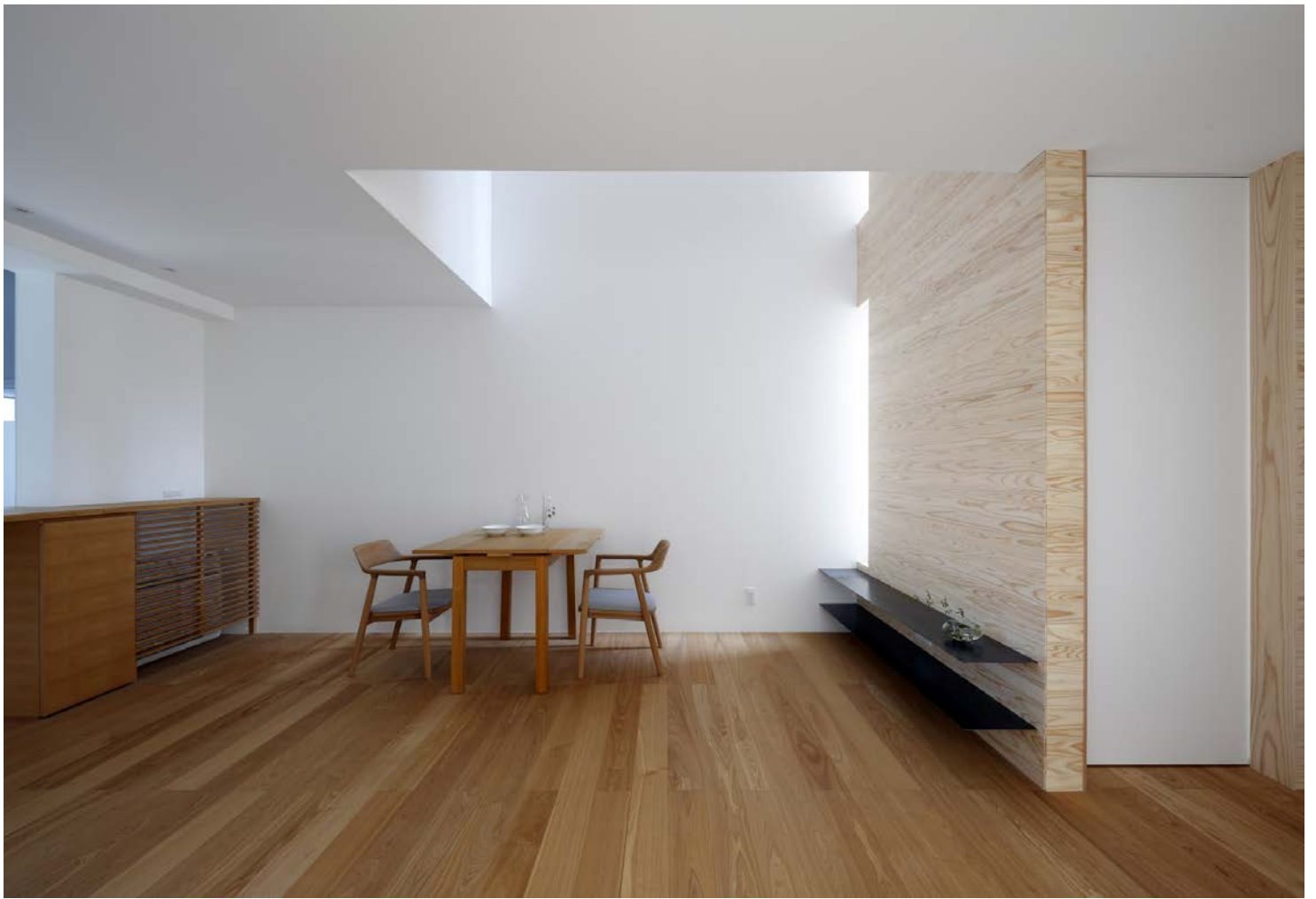
吹抜けを介しリビングとつながるスタディコーナー



デザイン性と機能性を両立するハーフバス



造作の洗面・見せる収納・ミラー



吹抜けのあるリビングダイニング



坪庭のあるエントランス

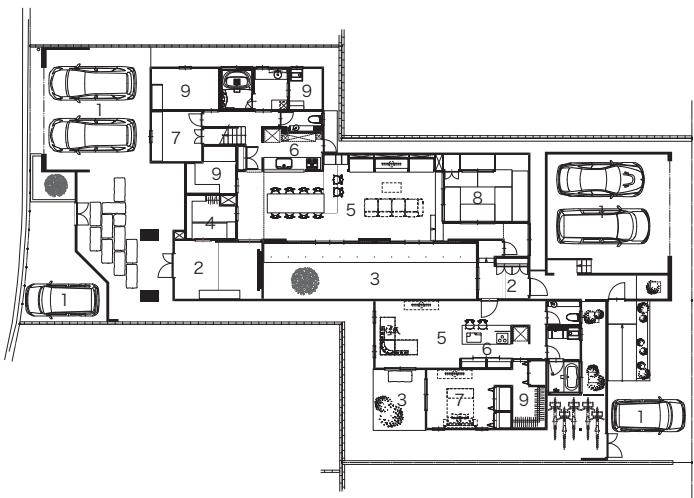


吹抜けを介したディナーコーナーとつながるリビングダイニング

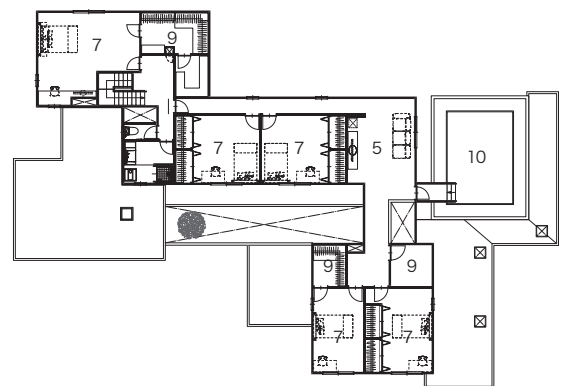
## | ヤマモミジの家 - HOUSE |

場 所 : 大阪府茨木市  
工法規模: 木造 2F  
敷地面積: 561.46m<sup>2</sup>  
建築面積: 261.45m<sup>2</sup>  
述べ床面積: 418.58m<sup>2</sup>

1世帯6人暮らしで、ゲストが長期滞在できる『ゲストハウス』付き住宅です。外部に御影錆石と小幅板の打ち放しを採用。程よい柔らかさとシャープさを両立しています。内部は国産の飫肥杉を使用し、大正クラシカルモダンの雰囲気を持つデザインに仕上がっています。枯山水の中庭に面して大型の木製サッシュュが配置され気候の良い時期は全面を解放することができます。建物の外部と内部が一体となったラグジュアリー感漂う住宅となっております。



1F PLAN



2F PLAN

1.parking 2.entrance 3.courtyard 4.SICL 5.LD 6.K 7.room 8.japanese room 9.WICL 10.balcony



重厚感の中に和の柔らかさを持ったファサード



坪庭とRC壁のコントラストを楽しむ通路

(上)広い玄関に光壁(下)サビ石のアプローチ





大開口木製サッシを開けると中庭と一体になるリビングダイニング



大人数でも余裕があるダイニング



長いリビングダイニングと中庭にリズムを与える梁は鉄肥杉





リビングからの雰囲気を引き継ぐ和室



造作家具で和空間を造った洗面・トイレ





1.杉板の家 外観 2.杉板の家 LDK 3.杉板の家 エントランス 4.RCの家 アプローチ 5.RCの家 洗面 6.タワーマンション フルリノベーション LDK 7.ビルのエントランス改装 8.オフィス移転のプロジェクトマネジメント&デザイン 9.金融店舗の増築・改装 10.エッセサロン デザイン 11.タワーマンション フルリノベーション 洗面 12.タワーマンション フルリノベーション 浴室

## 会社概要

一級建築士事務所 Kenso Architects  
ケンソウ アーキテクト

所在地  
542-0012 大阪市中央区谷町7丁目4番23号  
621-0261 亀岡市畑野町千ヶ畑高橋1-217

連絡先  
TEL: 06-6767-2842  
mail:info@kenso-ad.jp

設立年月日  
2006年1月1日

代表取締役  
一級建築士 犬走 哲 イヌバシリ サトシ

事業内容  
住宅建築設計/内装デザイン/店舗デザイン

許可登録  
大阪府知事登録(ハ)第22804号

## Company Profile

Kenso Architects

Company Address  
542-0012 7-4-23,Tanimachi,Chuo-ku,Osaka City,Osaka,Japan  
Phon: 06-6767-2842  
mail:info@kenso-ad.jp

Date founded  
January 1, 2006

Representative Director  
Satoshi Inubashiri

Main Business Activities  
Residential design/Interior Design/  
shops Design

Acquired License  
Governor of Osaka(ハ)No.22804

